

第6章 景観形成につながる活動の推進

第6章 景観形成につながる活動の推進

1. 連携して取り組む地域活動

京築地域には豊かな自然や古くから伝わる歴史・文化が存在し、それらは地域の魅力をつくり出す貴重な財産となっています。

南部の山並みと河川等が作り出す谷筋、豊前海、京都平野等の広大な田園、旧蔵内邸や本庄のクスなどの歴史的な建造物や樹木などによって形成される景観を守り育てる地域活動が各地で行われています。

そうした個々で行われている地域活動を基盤としながら、景観資源を活用した観光振興等による地域活性化につないでいくため、京築地域全体で連携して広域的な景観を守り、景観の価値や意味を多くの人に伝えていく取り組みを推進します。

(1) 地域活性化につながる活動

京築地域には、自然、歴史、文化等に育まれてきた良好な景観資源が数多く存在しています。

それらを活用し、地域内外に発信することにより、地域住民が景観の大切さに気づき、景観資源を保全し、魅力ある良好な景観を形成していくための取り組みを推進していきます。

さらにそうした景観資源の魅力を活かし、グリーンツーリズム、エコツーリズムなどによる都市と農山漁村の交流を推進していきます。

【活動例 景観資源マップの作成・活用】

京築地域において、地域に親しまれてきた良好な景観資源について、地域住民及びまちづくり団体・NPO等が中心となってマップを作成します。

マップとしてまとめることは、多くの人々に景観資源を紹介し、関心を高めることに役立つとともに、地域住民の中で景観資源の豊かさや大切さなどに対する意識の共有化を図ることや来訪者に魅力を伝えるための観光マップとして活用できる取り組みです。



<京築豊の源つぼぞろいマップ>

地域住民、まちづくり団体・NPO、行政が協働して京築地域の景観資源等をまとめた「京築豊の源つぼぞろい」マップを作成し、多くの人々に地域の魅力を伝えるためのマップとして活用されています。

また、今川や祓川のウォーキング、修験の里をめぐるフィールドワークなどを実施し、グリーンマップや景観資源マップを作成・活用しています。

【活動例 景観資源を活用したまちづくり、観光の活性化】

良好な景観を広域的に保全・継承していくために、まち歩きや景観資源をめぐるウォーキングを通して地域内外の多くの人々に景観資源の重要性を伝えるとともに、歴史的な背景や魅力を理解し、体験してもらいます。

観光協会や商工会、まちづくり団体・NPO等、地域住民が連携しながら、観光ボランティアガイドの育成や観光資源の発掘を進めていくことで、まちづくりや観光の活性化を推進します。



< 殿川ダム周辺に植樹した桜（苅田町） >

京築地域のまちづくり団体・NPOがガイドボランティアとして地域の歴史資源をめぐるツアーを実施しています。

また、苅田町では、子供達と一緒に殿川ダム周辺に桜の植樹を行い、ウォーキングやウォークラリーを開催しています。

みやこ町では、今川流域の景観を眺めながらウォーキングを行い、県内外から多くの人々が参加し、河川沿いの景観を楽しんでいます。

【活動例 地域で親しまれている建造物等の活用・管理】

地域で親しまれている建造物等が形成する景観の保全・形成に向け、資源の有する歴史や地域との関わりなどの情報提供を進めます。

また、地域住民やまちづくり団体・NPO等と連携して、地域で親しまれている建造物の活用や管理体制づくりを進め、観光・交流施設として再利用し、地域の活性化を推進します。



< 旧蔵内邸（築上町） >

京築地域にある歴史的遺産の有効利用についてシンポジウム等を開催しています。

また、築上町の旧蔵内邸では、石炭産業の反映の歴史を伝える建築物と庭園を活かし、ドラマの撮影にも使われ、観光・交流施設として活用が計画されています。

(2) 景観形成の啓発・継承活動

景観は地域住民の意識や日常生活と直接関わっていることから、より多くの住民が景観に関心を持ち、日常生活に関わる身近な活動を入り口として、景観まちづくりに取り組む人が少しずつ増えることで地域の景観は向上していきます。

そのため、イベントや講習会、コンテストなどで、景観形成への関心を高め、まちづくり団体・NPO 等や地域団体が実施する活動への参加を促すなど、景観形成の啓発活動を行います。

また、景観に対する意識の向上や活動の推進のために、学校や公民館などと連携し、学校教育、生涯学習、環境学習など様々な場面を通じて、子どもたちに環境や景観の学習機会を提供し、次世代への継承活動を進めます。

【活動例 景観まちづくり学習】

学校において、景観をテーマとした総合学習などを行うことにより、幼少期から景観への関心を高める取り組みです。将来、景観まちづくりの積極的な担い手となるよう、まちなみ見学や、様々な祭・行事への参加などができる機会づくりを積極的に進めます。



<地域資源をめぐるイベントの様子>

行橋市では、地域の文化財や史跡を多くの人に知ってもらうため、いくつかの公共施設で資源を紹介するパネルを展示し、地域の歴史や文化を伝える活動を展開しています。

また、京築地域全般の郷土について学ぶ郷土史講座や現地見学会を開催し、啓発につなげる活動を行っています。

(3) なりわい・祭礼文化の景観を支える活動

京築地域において、地域独自の海の幸・山の幸を育んできた「なりわいの景観」「祭礼文化の景観」は、特徴的な景観の一つです。これらの景観は、人々の暮らしとともに形づくられてきたものであり、日常的にいとまされることによって維持されています。そこで、棚田の保全、耕作放棄地の活用や祭・行事の継承、農林水産物のブランド化などを通して、なりわいや祭礼文化の景観を守り、地域の活性化へとつながるような活動を推進します。

【活動例 棚田の再生、耕作放棄地の活用】

耕作放棄地については、市町や農業委員会、JA、土地改良区などと連携して解消を図り、担い手等への農地の利用集積を図るなどして営農再開を推進します。またまちづくり団体・NPO やボランティア、地域住民等の活動との連携により、棚田の再生、耕作放棄地の市民農園としての活用や、菜の花・コスモス・ヒマワリなどの景観作物等の栽培を行うなど、農地の保全を図るとともに、観光などへの活用を進めます。



<耕作放棄地をピオトープへ活用した様子
(みやこ町)>

みやこ町の犀川大熊地区では、耕作放棄地をピオトープに活用し、田んぼの生きもの調査を保育園等と実施しています。

豊前市では、休耕地となった棚田を利用したひまわりの栽培が行なわれ、花が咲く時期は、多くの人々が訪れます。

【活動例 各地で行われている祭・行事の普及・継承】

京築地域には多くの神社が設けられ、そこでは神楽、神幸祭などの祭りや祝い事、奉納が行われ、季節の景観や祭事の景観として継承されています。こうした祭・行事に関する歴史等の価値や意味の理解を促すような情報提供を進めます。

また、まちづくり団体・NPO、建築士会等の支援を得ながら、後継者育成や祭・行事の舞台となる歴史的建造物の保全・再生を推進します。



<お田植え祭 (上毛町)>

上毛町では、春になると五穀豊穰を祈る「お田植え祭」が行われ、地域の人々によって保存・継承されています。さらに、演目の一部を小学生が演舞するなど後継者の育成にも取り組んでいます。

【活動例 京築地域の地域ブランドの創出】

観光協会や商工会、業界団体、事業者と連携して、京築地域の自然、歴史・文化等の資源を活用した新たなツアーの開発や、米、お茶、イチジク、牡蠣などの豊かな農水産物の加工品等の開発を進め、地域イメージの一層の向上につながるイベント等のPR活動を行い、「京築」ブランドを創出します。



<京築フェスタの様子>

京築地域のイメージ・魅力の向上を目指した「地域ブランド戦略」として、京築の食材を用いた商品開発等を行い、イベント等で販売する『「買いたい京築」づくり』や日帰り・宿泊滞在型観光商品の開発を行う『「訪れたい京築」づくり』に取り組んでいます。

(4) 地域マネジメントによる景観まちづくり活動

きめ細かな景観まちづくりを推進するためには、行政が主体的に担う規制・誘導方策とともに、地域住民・まちづくり団体等が自らの地域の景観を把握し、守る活動が重要となっています。そこで、地域主体による「景観パトロール」や「景観フィールドワーク」などを推進し、様々な景観情報を収集し、データベースとして情報の共有化を図ります。また、これらを地区レベルでの景観形成や災害復旧等にも役立てていきます。

【活動例 地域住民主体の景観保全活動】

景観形成のルールに実効性をもたせるためには、地域の自立的な管理による景観形成の取り組みが必要であり、地域住民が主体的に行う景観保全活動が有効な手段として期待されています。景観保全活動の一つとして、地域で親しまれている景観資源周辺での清掃や花植え等の緑化の活動や違法広告物、景観上重要な資源に対する破損・破壊行為、河川や水路、田畑や山林へのゴミの不法投棄、景観や環境へ悪影響を及ぼす資材・物品の堆積等のパトロールなどがあげられます。こうした景観保全活動は、小・中学校の社会学習の一環で実施するなど、様々な人々の参加を促すことで、より多くの人々が地域の実情を知り京築地域の素晴らしい景観を知る機会が増えるなどの相乗効果が得られます。



<花いっぱい運動（吉富町）>

吉富町では、遊休地や河川敷を利用して「町民が主役の花いっぱいの潤いのあるまちづくり」「花いっぱい運動」に取り組まれています。

小倉一中津一宇佐間の旧街道を散策する会を催し、ごみ拾いなどを行い、旧街道を守り、親しむ活動が行われています。

また、行橋市では、姥が懐の清掃や、キャンドルナイトを行い、海浜の景観に親しむ取り組みがなされています。

【活動例：重要な景観資源のリスト化と景観情報のデータベース化】

京築地域において、地域で親しまれてきた良好な景観資源を、地域住民及びまちづくり団体・NPO等が中心となってリスト化し、景観に関する様々な情報を収集しデータベース化し、ホームページ等で発信します。さらにリスト化された景観資源は、京築地域全体で、地域住民、まちづくり団体・NPO、市町、国の関係機関が協働して良好な景観の保全・継承を図ることを目指します。

リスト化とあわせて景観資源の様々な情報をデータベースとして整備し、景観資源の保存・管理、観光資源としてのPR、消失する恐れのある資源の記録作成、災害時の復旧工事における基礎資料、景観形成の啓発・広報活動への情報として活用します。



京築地域の景観資源をデータベース化し、京築地域の情報サイト「京築まるごとナビ」を活用し、京築地域の彩り豊かな景観資源を情報発信しています。

<京築まるごとナビ>

2. 広域で連携して進める景観形成

各地域で行われている個々の活動を活性化し、その活動を地域全体でつないでいくことにより、地域の垣根を越えて景観まちづくり活動を行うことができ、広域的に良好な景観形成を図ることができます。

そのため、地域住民、まちづくり団体・NPO、事業者、行政等が広域的に連携して取り組む活動を推進します。

■連携して取り組む景観形成の例

□景観資源のサインの共有化

豊姫の国の歴史や自然や食といった地域資源を共通のアイコンとして記号化し、京築地域の観光マップ等や案内サイン等に掲示して広域景観のイメージの統一化を図る。

□歴史・文化の保護・伝承

地域の歴史や文化を収集し、修験道や神楽などが行われている場所を示すルートマップを作成し、そのルートの清掃やルートを示す案内板の設置等を行いながら、身近な歴史・文化を保護・伝承を図る。

□守り伝える地域の自然、歴史・文化の紹介

写真コンテスト、景観スケッチ大会、ため池などの景観ポイントをめぐるオリエンテーリングなどの様々なイベントを行いながら、見る景観から体験する景観へと展開していく中で、自然などの景観や生活文化等をPRし、情報発信を図る。